

京都府の食の安心・安全に係る
取組について

令和8年度リスクコミュニケーション開催計画（案）

1 目的

府民が食に関する情報を入手する機会は、テレビ、新聞、雑誌が主流であったが、近年はインターネットから情報を得る人が増えている。一方、SNSの情報は、様々な情報が混在しており、府民が求めている情報を取捨選択することが難しくなっている。

そこで、府民が自らのライフスタイルに応じた適切な情報選択に役立てられるよう、食の安心・安全に関する最新の知見、科学的根拠や法令に基づく情報等を発信し、食の正しい情報について学び、考える機会を設けるため実施する。

2 目標

参加延べ人数	500人（食の安心・安全行動計画）
・農政課主催	100人（30～40人×3回）
・きょうと食の安心・安全フォーラム	100人
・各振興局開催 意見交換会等	100人
・その他の地域機関等が開催した施設公開等	200人

3 農政課が主催するリスクコミュニケーションの令和8年度開催計画 オンライン等を活用し、開催予定

テーマ	開催時期	場所	対象	開催	講師
食の安全と農林水産物生産の魅力	7～10月	WEB（Zoom） ／会場	一般府民	農政課 経営支援・担い手 育成課 農産課 水産課	農業者 漁業者
災害時の食 ○近畿農政局 災害時の食料備蓄等について ○有識者 案1 伝統食を使った保存食 案2 ローリングストックを 使った災害食	9～10月	WEB（Zoom）	一般府民	農政課	近畿農政局 有識者
食中毒	10～12月	京都学・ 歴彩館	大学生		食品安全委員会 京都府

【参考】令和7年度の農政課主催リスクコミュニケーション開催実績

テーマ	開催時期	場所	対象	開催	講師
食の安全と農林水産物生産の魅力	8月25日	WEB（Zoom） ／会場	一般府民	農政課 経営支援・担い手 育成課	農業者
災害時の食	10月21日	WEB（Zoom）	一般府民	農政課	近畿農政局 （株）松尾温泉 京料理鳥米
カフェイン	11月28日	京都学・ 歴彩館	大学生	農政課 食品安全委員会	食品安全委員会 京都府

令和8年度食の安心・安全意見交換会の年間計画

食の安心・安全に関する様々なテーマについて、府内消費者団体と意見交換会を開催して、京都府の食に関する施策、取組に意見を反映しています。

令和8年度に取り組む施策や7年度のアンケート結果や意見を踏まえて、令和8年度年間計画のテーマを検討しています。

令和8年度開催計画

	開催時期	テーマ	担当
第1～3回	6～12月	環境にやさしい農業について※	農産課
		保健所における食品衛生の業務について※	生活衛生課 保健所
		持続可能な京都の海の活用に関するプランについて※	水産課 水産事務所
		畜産物の安心・安全に関する取組について※	畜産課 畜産センター
第4回	2月頃	令和9年度京都府食品衛生監視指導計画について	生活衛生課

※ 4つのテーマのうち、3つを選定し意見交換会を実施する予定。

(参考) 令和7年度開催実績

	開催日	テーマ	担当
第1回	8月4日	食品表示法に基づく間人ガニ産地偽装への京都府の対応について 京都府産ズワイガニのブランド適正化について	農政課 水産課
第2回	10月10日	生乳等の安心・安全について	畜産課 南丹家畜保健衛生所
第3回	12月22日	第5次京都府食育推進計画の策定について	農政課
第4回	2月26日	令和8年度京都府食品衛生監視指導計画について	生活衛生課

リスクコミュニケーション「食の安全と農林水産物生産の魅力」を開催しました（報告）

令和7年8月
農政課

令和7年8月25日（月）に一般府民を対象に食の安全と農林水産物生産の魅力についてのリスクコミュニケーションを開催しましたので、下記のとおり概要を報告いたします。

記

- 1 日時 令和7年8月25日（月）14時から15時30分まで
- 2 場所 ・京都府立京都学・歴彩館 小ホール（京都市左京区下鴨半木町1-29）
・オンライン（ウェビナー）併催のハイブリッド方式
- 3 主催 京都府
- 4 参加者 61名（会場参加者24名、オンライン参加者37名）
- 5 内容

（1）食卓に届ける私の大切なこと

講師：株式会社小林ふぁーむ 代表取締役 小林 加奈子 氏

講師：株式会社ミルクファームすぎやま 代表取締役 杉山 裕亮 氏

（2）質疑応答・意見交換

6 アンケート集計結果（回答率78.7%）

- ・今回のリスクコミュニケーションについて「大変満足」「満足」と回答した割合93.7%
- ・食の安全と農林水産物生産の魅力について「とても理解が進んだ」「進んだ」と回答した割合100%
- ・産地や生産者を意識して農林水産物・食品を「選ぼうと思った」「やや選ぼうと思った」と回答した割合93.8%

【参加者の感想】

- ・生産者の方の思いや日々のご苦労などを聞き、食を支えるのはこのような人々の献身的姿勢だと感じました。
- ・京都府で作られている産物について知ることができました。京都のものがもっと広まっていけばいいなと思いました。
- ・今後、農畜産物を購入する際には、消費者としてその価値・価格についてよく考えていきたいと思いました。



リスクコミュニケーション「食の安全と農林水産物生産の魅力」の様子

「災害時の食の備えセミナー」を開催しました

令和7年10月
農政課

令和7年10月21日（火）、一般府民を対象に「災害時の食の備えセミナー」をオンライン開催しましたので、下記のとおり概要を報告いたします。

記

- 1 日時 令和7年10月21日（火）14時から15時30分まで
- 2 配信 Zoom ウェビナーによる配信
- 3 主催 京都府
- 4 参加者 94名
- 5 内容

- (1) 講義
- ・災害時の食料備蓄等について
講師：近畿農政局 企画調整室 防災・危機管理係長 平田 彩乃 氏
 - ・美味しい！がここにある日常から備えておきたい「美蓄食」について
講師：株式会社松尾温泉 京料理 鳥米 代表取締役 田中 良典 氏

(2) 質疑応答

6 参加者アンケート結果

【セミナーの理解促進度】

「とても進んだ」「進んだ」と回答した割合 97%

【参加者の感想】

- ・備蓄食品の収納の実例までお話ししてくださり、まだまだ足りないな、とも感じたので収納スペースの見直しからしようと思いました。
- ・非常食を普段から食べ慣れておくこと、自分や家族が美味しいと思えるものを備蓄しておくことなど、発災時に食の面で我慢しなくて良いようにする工夫ができるのだと知ることができました。
- ・これまで食料備蓄の必要性ばかりを考えていましたが、日常から楽しく備える方法や工夫、災害時も美味しく食べられるという考え方を知ることが出来て良かったです。



災害時の食料備蓄等)について



美味しい！がここにある日常から備えておきたい「美蓄食」について

令和7年度事業者向け食品表示講習会の開催結果について

令和7年11月
農 政 課

食品表示法に基づく表示制度の周知及び啓発の一環として、府内の食品関連事業者等を対象とした事業者向け食品表示講習会を開催しましたので、下記のとおり概要を報告いたします。

記

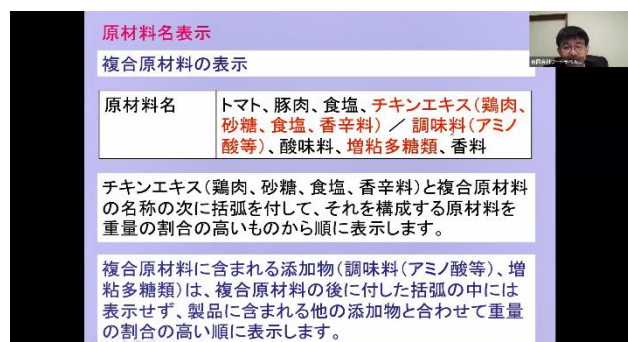
- 1 日 時 令和7年10月23日（木）13時30分から16時30分まで
- 2 配信・会場 オンライン（Zoom ウェビナーによる配信）
オンライン開催の内容を府内5か所の会場で同時配信
（京都市、向日市、宇治市、舞鶴市、京丹後市）
- 3 主 催 京都府（農政課、各広域振興局農林商工部農商工連携・推進課）
（運営は各保健所等と協力・連携）
- 4 参 加 者 148名（オンライン参加者124名、会場参加者24名）
- 5 内 容
 - (1) 講 義 食品表示の最近の動向 ～法令遵守の観点から～
講師 京都府農林水産部農政課 参事 八谷 純一
食品表示法（総論）に関すること
品質事項を中心とした食品表示に関すること
講師 合同会社フードラベルサポート 代表 福地 祐治 氏
 - (2) 質疑応答
- 6 参加者アンケート結果（回答率55.4%）

【講義の内容について】

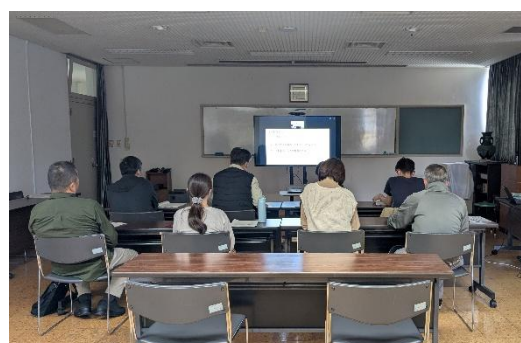
「とてもよく理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した割合：90.1%

【参加者の感想】

- ・全体の概要や今後の動向など把握しやすい内容でした。
- ・現在進行中の検討会にも触れて頂いたのはとても有用でした。
- ・法改正の部分について簡潔に要点を知ることができたのでよかった。



講義のオンライン配信画面



府内5会場で計24名が視聴

リスクコミュニケーション「身近な食品のリスク」 ～今日から知って、考えて、行動しよう～を開催しました（報告）

令和7年12月
農政課

令和7年11月28日（金）に京都府立大学の学生を対象にカフェインについてのリスクコミュニケーションを開催しましたので、下記のとおり、概要を御報告します。

記

- 1 日時 令和7年11月28日（金）10時30分から14時20分まで
- 2 主催 京都府、内閣府食品安全委員会
- 3 連携 京都府立大学吉本優子准教授（きょうと食育ネットワーク代表）
- 4 参加者 20名（栄養科学科2年生）
- 5 内容

（1）話題提供

「食品安全の基本とカフェインについて」

講師：内閣府食品安全委員会事務局 情報・勧告広報課 課長補佐 中村 功 氏

（2）京都府からのお知らせ

「京都府の食に関する取組について」※きょうと食の安心・安全ヤングサポーター養成講座

（3）グループワーク

テーマ：「カフェインを摂るときに知っておきたいこと」について、
同世代の若者に効果的に情報発信するには？

内 容：発信方法と内容を考え、発信するコンテンツを作成し、発表

◆グループワークで学生が考えた発信方法

TikTok 投稿、X 投稿、ポスター

◆グループワークで学生が作成した発信コンテンツ

知っていますか?! カフェインの脅威!!

COFFEE × BEER = **危険**

カフェインとアルコールを同時に飲むと、酔っているのに酔っていないと錯覚してしまいます。しかしちゃんと後から飲んだ分だけ酔いは回ってきます。
正しい知識をもってお酒を楽しみましょう!

カフェインでごまかすな!

カフェインの覚醒 VS アルコールの酔い

- ・お酒の飲みすぎ
- ・急に酔いが回る

カフェインの光と落とし穴

コーヒーは1日3杯まで! (300mg)

集中力の低下
眠気すっきり*

カフェインを摂取しすぎると...
体調不良
死亡の恐れも

え、ここにも? カフェイン!

お酒×カフェイン NG!

ENERGY

1日3杯まで!

カフェイン摂りすぎてない?

症状	摂取量
めまい	400mg/日
はきけ	・コーヒー 120mg/200mL
不眠	・エナジードリンク 140mg/350mL
	・紅茶 60mg/200mL

※入浴時や飲酒によってカフェイン濃度は高くなります

アンケート

こんな人は要注意

- ・こども
- ・妊婦さん

QR

6 参加者アンケート結果（回答率 100%）

- 【参加者の満足度】 「十分満足」、「ほぼ満足」 95%
【食の安心・安全への理解促進度】 「とても理解が進んだ」、「理解が進んだ」 100%
【参加者の感想】

- 意見交換会をすると「この人はこういうことを考えているのか」とか「そういう意見もあるのか」など新しい発見があって、楽しかったのでとても話し合いも活発に進みました。色々な意見も聞けて良かったですし、短時間で作り上げた達成感もあり、満足しています。
- カフェインとアルコールの同時摂取の危険性やカフェインの摂取量の上限など、自身の知らなかった情報を知ることができ、改めてカフェインの危険性について意識することができました。

7 当日の様子（京都府立京都学・歴彩館 小ホール）



話題提供の様子



きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成講座を併催



グループワークの様子



発表の様子